

研究課題名	血液浄化療法における内頸静脈、大腿静脈直接穿刺時の脱血不良に関する検討
研究の意義・目的	本研究は大阪市立大学のみで行う研究です。血液浄化療法施行時の針を刺す場所として頸部もしくは太ももの付け根の血管が選択されますが、本研究においては、刺す部位の違いにより血流の取れ具合に差があるか検討します。
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可後 ～ 2025年12月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2014年1月から2021年12月の間に当大阪市立大学医学部附属病院の泌尿器科で血液浄化療法が施行された患者さんのうち、一時的に針を刺す場所として内頸静脈(頸部の血管)もしくは大腿静脈(太ももの付け根の血管)を使用した方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【年齢、性別、身長、体重、原疾患、既往歴、喫煙歴、併存疾患、透析歴、血液検査結果、血圧、血液浄化条件、胸部レントゲン所見、脱血不良の頻度】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行い、他の施設に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院泌尿器科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器科学 研究責任者 長沼俊秀
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学 (担当者氏名) 長沼 俊秀 電話番号：(06) 6645-2366